

病虫害情報

奈病防号外
令和元年7月9日

関係機関長 殿
病虫害防除員 殿
調査員・情報員 殿
農業資材販売等関係者 殿

奈良県病虫害防除所長

病虫害情報の送付について

このことについて、下記の通り発表しましたので送付します。安全・適正な防除についてご指導をお願いします。

令和元年度病虫害情報（第1号）

奈良県内でクビアカツヤカミキリの発生が確認されました

令和元年6月下旬に広陵町の民家敷地内でクビアカツヤカミキリの成虫（オス1頭、メス1頭）が捕獲されました。また、近隣のサクラで、本種のものと同様のフラス（木くずや糞）の排出が確認されました。このことを受けて、奈良県景観・自然環境課より7月8日付けで報道発表がなされました。農耕地での発生確認ではありませんが、今後の発生拡大が懸念されますので、果樹園内での発生について一層の警戒をお願いします。なお、現在、県と市町村で周辺地域での被害確認調査を実施しています。

1. 対象作物：モモ、ウメ、オウトウ、スモモ等

2. 対象病虫害名：クビアカツヤカミキリ *Aromia bungii* (Faldermann)

3. 国内での発生状況

本種は、令和元年7月8日現在、愛知県、埼玉県、栃木県、群馬県、東京都、徳島県、大阪府で発生しています。発生地では、加害によるモモ、ウメ、サクラなどの被害が拡大しています。

4. 本種の特徴

- 幼虫は主に、モモ、ウメ、サクラ、スモモなどのサクラ属の樹幹に穿孔して樹勢を低下させます。多発した場合は枯死に至ります。
- 樹幹を加害する際に、うどん状のフラスを排出するのが特徴です（写真1）。

- (3) 幼虫・蛹を経て、6月中旬～8月上旬頃に成虫となり樹木の外へ出ます。成虫の体長は28～37mmで、光沢のある黒色の体に、赤色の前胸背板のコントラストが特徴です（写真2）。

5. 防除対策

- (1) 成虫を見かけた場合は直ちに捕殺します。
- (2) 樹幹からフラス排出が認められる場合は、スプレータイプの殺虫剤（下表）を使用します。あらかじめ針金や千枚通しなどで食入孔からフラスをできるだけかき出し、薬液を内部まで届きやすくしてから、ノズルを食入孔に差し込んで薬液を噴射します。幼虫が大きくなると効果が劣るので、フラスを確認したら直ちに防除します。
- (3) 散布剤（下表）は、成虫に対する殺虫効果を狙った剤です。成虫が発生する6～8月に、登録内容に従って樹冠全面、または樹幹部を狙って散布します。
- (4) 被害樹からは成虫が羽化・分散して、次の発生源となる可能性があります。被害樹を確認したら、株元から1～2m程度の高さまで4mm目合いのネットを巻き付けて、羽化した成虫が分散するのを防ぎます。また、設置後には見回りをし、成虫を見つけたら捕殺します。
- (5) 被害が激しい樹は樹幹内の幼虫を防除するのが困難ですので、可能であれば伐採します。伐倒木には生きた幼虫が残っている可能性があります。特定外来生物に指定されているため保管や移動に規制がかかります。伐採する場合は伐倒木の処置について病虫害防除所にご相談下さい。
- (6) 栽培園地内で上記の被害やカミキリムシを見つけた場合には、直ちに病虫害防除所もしくは管轄の農林振興事務所にご連絡ください。また、公園等の桜並木など、栽培園地以外での発生を見つけた場合は、市町村の環境部局等にご連絡ください。

表 クビアカツヤカミキリの主な防除薬剤

薬剤名 (有効成分名)	作物名	希釈倍 数	使用 方法	収穫前使用 日数	使用回数	散布液量
散布剤						
アクセルフロアブル	うめ	1000倍	散布	前日まで	3回以内	200～700L/10a
アクタラ顆粒水溶剤	もも ネクタリン	2000倍	散布	前日まで	3回以内	200～700L/10a
	おうとう	2000倍	散布	前日まで	2回以内	200～200L/10a
	小粒核果類	2000倍	散布	7日前まで	2回以内	200～700L/10a
スプラサイドM	もも	200倍	樹幹部及び 主枝に散布	60日前まで	2回以内	100～180L/10a

スプラサイド水和剤	うめ	1500 倍	散布	14 日前まで	2 回以内	200～700 L/10a
	もも	1500 倍	散布	21 日前まで	2 回以内	200～700 L/10a
	すもも	1500 倍	散布	14 日前まで	2 回以内	200～700 L/10a
テッパン液剤	もも	2000 倍	散布	前日まで	2 回以内	200～700 L/10a
	すもも	2000 倍	散布	前日まで	2 回以内	200～700 L/10a
モスピラン顆粒水溶剤	小粒核果類	2000 倍	散布	前日まで	3 回以内	200～700 L/10a
	もも	2000 倍	散布	前日まで	3 回以内	200～700 L/10a
スプレー剤（樹幹注入）						
ロビンフッド	果樹類※	—	樹幹・樹枝 の食入孔に ノズルを差 し込み噴射	前日まで	5 回以内	—
ベニカカミキリムシ エアゾール						

※果樹類：かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちょう（種子）、くり、ペカン、アーモンド、くるみ、食用つばき（種子）を除く
農薬に関する情報は、令和元年7月1日現在の登録内容に基づいて記載しています。



写真1. クビアカツヤカミキリのフラス



写真2. クビアカツヤカミキリの成虫

お問い合わせは

奈良県病虫害防除所
TEL. 0744-47-4481

病虫害防除所ホームページ
<http://www.jpnp.nara/>